

沼南高校に対するご意見

番号	日付	生徒にとって望ましい学びの環境とは。	生徒にとって活力のある教育活動を維持するためにはどうすればよいか。	1で回答した高等学校に関して記述してください。（自由回答）	備考
1	2024/8/1	・安心して学べる環境、安全に学べる環境。（通学も含めて） ・充実感・満足感が得られる環境。	・地域連携アクティブスクールや通信制へ。 ・通信制協力校に指定する。	・何らかの改革を行わなければ、現状のままでは入学者数(受験者数)は変わらないと思います。ただし、統合(統合ありきではないというのもわかっています)がすべての解決になるとも思えないです。	Forms
2	2024/8/1	・ゴールを見据えた学びの提供(キャリア教育)。主体的、対話的な授業の提供(チョークアンドトークでない)。個に応じた学び直しの機会の提供。	・進路の明確化(漫然と勉強するのではない)。ICTに係る環境整備。部活動の充実。	・通信制希望者が増加している現状で、通信制の公立高校として再編されると、非常に有難いと思います。	Forms
3	2024/8/2	・体験的な共同作業や協働学習の実施により、生徒同士で学び合うことができる環境	・現代の生徒のニーズにあった多様な部活動の設置(スポーツ、社交ダンス、自転車、アーチェリーなど) ・ICT機器の充実をはじめ学習環境の整備	・農業科や園芸科の新設(農家や植木農家など地元産業との連携) ・スクールバスの導入	Forms
4	2024/8/2	・生徒一人ひとりの興味・関心を高める教育活動を行なうとともに、協働的な学びや学校行事、生徒会活動、部活動等を通じ、多様な考え方や価値観に触れ、互いに協力や切磋琢磨しながら、豊かな人間性や社会性を身に付けられる環境。	・望ましい学びの環境が整っていることが前提で、活力のある教育活動が行われると考える。そのためには各県立高校の適正規模を維持していくことが必要である。	・柏市は都市部で1校あたりの適正規模が学年6～8学級であるが、沼南高校の位置する旧沼南町に位置するこの地区は、(柏市全体でもそうだが)中学校卒業生徒数が年々減少している。地元や近隣地区からだけでは適正規模を維持していくのは厳しいのではないかと。そのために広く学区内や他学区などから生徒を集めなければならないが、私立高校や他の県立高校に志願者が流れているのが沼南高校の現状である。	Forms
5	2024/8/2	・生徒の実態に合わせたカリキュラムや学び方のできる学校システムが必要と考える。	・高等学校卒業後の将来の展望(夢)が持てるようなカリキュラム、資格取得を目指すコースなどの設置。また、公共交通機関が少ない立地条件から、三部制の定時制や通信制の併設など生徒の通いやすい学校づくりが望まれる。	・単純に統合や廃校ではなく、多様なニーズに合わせた学校づくりをお願いしたい。	Forms
6	2024/8/2	・生徒の実態に合った基礎学力定着を図り、かつ充実した体験活動とキャリア教育を提供できる環境	・生徒の興味関心のあることで、かつキャリア選択につながる教育活動	・自然に恵まれた環境を十分に生かし、社会に出るために必要な教育を手厚く行っていく。現在の規模を保ち、指導の個別化を図っていく等を学校の特色としていくと良いのではないだろうか。	Forms
7	2024/8/5	・生徒一人一人が主体的に活動したり、じっくりと個別学習したりできる空間を確保する。 ・情報活用能力の育成を図るために、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段及びこれらを日常的・効果的に活用するために必要な環境を整える。 ・生徒一人一人の特性等に応じた多様な可能性を伸ばすために多様性へ対応する。	・21世紀、グローバル化、情報通信技術の進展、少子高齢化、絶え間ない技術革新などの急激な社会の変化に伴い、先行きが不透明な社会に移行しています。こうした変化を乗り越え、一人一人が豊かな人生を追求し、豊かな社会を実現するため、高い志や意欲を持つ自律した人間として、他者と協働しながら、未来を切り開いていく力を身につけられる教育活動が必要であると考えます。	・多様な学びへの変換と新たなタイプの学校への再編等についてのお話をありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。	Forms
8	2024/8/27	・生徒が一人一人の個性や能力を伸長できる学校。 ・安心して、生き生きと学習や諸活動に取り組める学校。 ・地域と連携し、様々な活動をし、地域に貢献し、地域から応援される学校。 ・それぞれの生徒が学びたいこと、経験したいことができる学校。	・生徒の自治活動が活発で、学業、行事、諸活動を通して生徒が自己肯定感を得られる教育課程を編成する。 ・ICT環境を平均並みに整え、義務教育で身につけたスキルを伸ばせる環境を構築する。(天井にプロジェクターを設置したり、校内のWi-Fi環境を整えたり(体育館にWi-Fiがない学校もあるらしい)、学習に有効なアプリケーションをインストールしたり、ICTアドバイザーを各校に配置する等、他県や市町村が行っている程度のことを千葉県も行う。	・アクセスが不便で、中学生を引きつける特徴もあまりないため、志願者が集まりにくく、大幅な定員割れが数年続いている。 ・努力して入学し、沼南高校で〇〇をしたいという中学生が少ない。(以前は、沼南高校の〇〇部で活動をしたいという生徒が今より多くいた。)	Forms

沼南高校に対するご意見

番号	日付	生徒にとって望ましい学びの環境とは。	生徒にとって活力のある教育活動を維持するためにはどうすればよいか。	1で回答した高等学校に関して記述してください。（自由回答）	備考
9	2025/1/12	・沼南高校では「わからない」が「わかる」(わかろうとすると質問ができる)そんな学習環境ができればと思います。わかるようになれば、生徒の自信につながると思います。	・様々な人とコミュニケーションを取れるようになれば、活力につながるはずです。そのため、外部人材の活用は様々な人とのコミュニケーションのきっかけになるのではないのでしょうか？	・学校施設の改善をお願いいたします。特にトイレの改修(洋式化とウォシュレットの導入)をお願いいたします。公立の小中学校では洋式化は当たり前な状況で、教室の冷暖房は当たり前、体育館にも冷暖房が導入が進んでいる現状です。	Forms
10	2025/1/17	・都市部における県立高校として相応の規模を有しており、定員を充足していることだと思います。	・情報発信や地域との連携など、高校からの不断の働きかけ(企業努力)で、中学生や保護者、中学校の先生、地域の方々に理解され、支持されることに尽きると思います。	・現状のままでは改善の見込みは立たないと思われる。統合により、一定の規模を有した上で、例えば、昼間定時制や全国的に急増している通信制など、新しいコンセプトの県立高校として生まれ変わることが求められていると思います。	Forms